
2015年3月期 第2四半期 決算説明資料

2014年10月31日

日本ガス株式会社
(日本瓦斯株式会社)



すべてはお客様のために

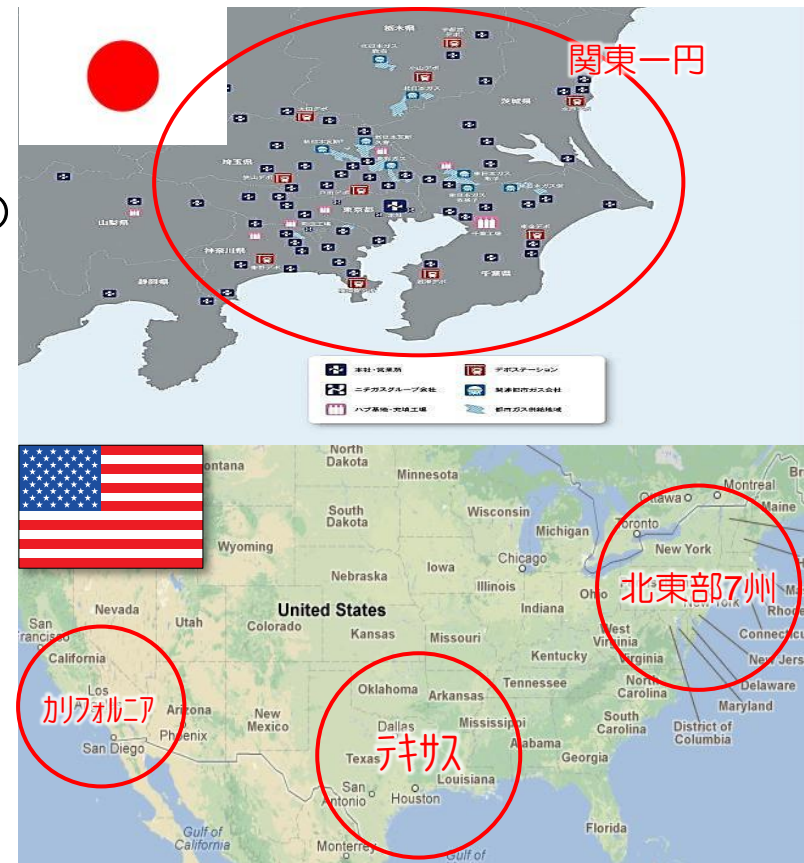
目次

1. はじめに（ニチガスって？）
2. 2015年3月期 上半期決算のポイント
3. 2015年3月期 上半期決算の実績と取組
4. 2015年3月期 通期業績予想

1. はじめに（ニチガスって？） ①

- ニチガスは小売に特化したI社ギ-企業です。国内でガスを108万件、海外でガスと電力を16万件のお客様にお届けしています。

- 会社名 日本瓦斯株式会社
(商標：ニチガス)
- 設立 1955年
(都市ガスの業歴：48年、LPGの業歴：59年)
- 事業内容 総合I社ギ-事業
(国内売上比率：都市ガス4割、LPG6割)
- ビジネスエリア
 - 国内：関東全域
(関東は全国の世帯数の4割以上が集中)
 - 海外：アメリカ(テキサス、カリフォルニア、北東部7州)、豪州
- お客様数
 - 国内：108万件
 - 海外：16万件
- 従業員
 - 国内：1,492人（連結）
 - 海外：100人（持分法）*2014年9月末時点



1. はじめに（ニチガスって？） ②

・ニチガスは都市ガス・電力の自由化を契機に大きく成長します。

LPGで培った“お客様に選ばれる力”があるからです。

ガス 関東お客様数

当社 お客様推移

全国の都市ガス事業者約200社の中で第8位

日本ガス
707 (10.1%)

全国のLPGガス事業者約20千社の中で、直売小売として最大手！

(単位：千戸)

関東圏3位

日本ガス
380 (2.8%)

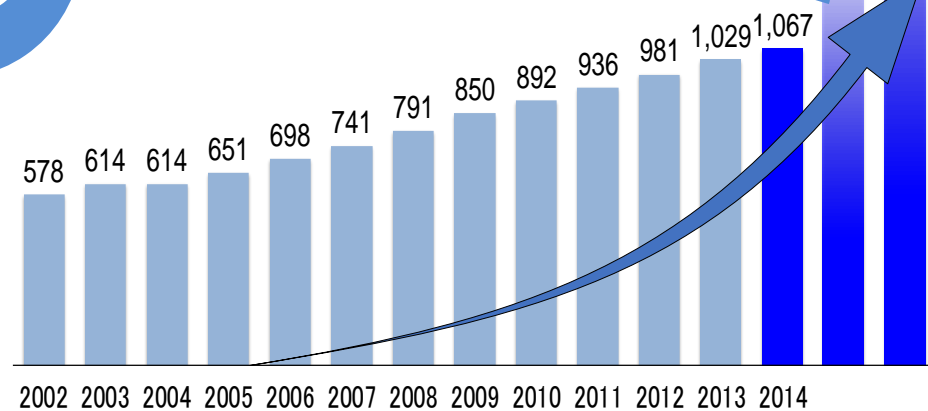
(単位：千戸)

LPガス
6,999

LPガス
6,999

都市ガス
13,676

※2014年9月末現在当社グループのお客様件数は**1,087千戸**



**成長余地大きい！
特に都市ガスでは13百万
戸以上の成長余地！**

2. 2015年3月期上半期決算のポイント

- 2015年3月期 上半期決算のポイントは下記の4点
 - 15年3月期 上半期の利益予想（修正後）を達成
 - 自由化に向けてガスと電力のパッケージ販売に着手
 - 海外事業が順調に拡大
 - 15年3月期通期の業績予想の達成を見込む

3. 2015年3月期上半期決算の実績と取組／①サマリー

- 顧客純増は堅調。一方でLPG原料の高値推移と顧客獲得費用の先行等により減益。但し、下期は原料価格の安定に加えて、顧客増加と価格転嫁の効果により、4期連続で営業最高益を見込む。

単位：億円

	2014/3期 上半期	2015/3期 上半期	増 減	2015/3期 上半期 修正後計画	備考
--	----------------	----------------	-----	-------------------------	----

PL & CF

売上高	536	556	+20	571	
営業利益	26	19	▲7	18	・修正後計画を超過達成
四半期純利益	21	7	▲14	6	・前期(14/3)は特別損益+8億有り
EBITDA	75	70	▲5	—	

B/S

総資産	1,173	1,137	▲36	—	
純資産	429	297	▲132	—	・144億円の自社株買いを実施

業容

お客様数（純増）	18,043件	20,426件	+2,383件	—	・前年同期比で13%の伸び
お客様数（千件）	1,048千件	1,087千件	+39千件	—	・2015/3期中に1,100千件を達成見込
ガス販売量（千トン）	275千トン	280千トン	+5千トン	—	

3. 2015年3月期上半期決算の実績と取組 / ②PL

- 増収。LPG原料高値推移と顧客獲得経費増等により減益。
- 下期は原料価格の安定と顧客増の効果で増益見込（P14）。

単位：億円

	2014/3期 上半期	%	2015/3期 上半期	%	増減
売上高	536	100%	556	100%	+20
（内、都市ガス事業）	(225)		(233)		
（内、LPガス事業）	(311)		(322)		
粗利益	212	39.6%	211	37.9%	▲1 / ▲1.7%
販管費	186	34.7%	192	34.5%	+6 / ▲0.2%
営業利益	26	4.9%	19	3.4%	▲7 / ▲1.5%
（内、都市ガス事業）	(6)		(5)		
（内、LPガス事業）	(20)		(14)		
経常利益	26	4.9%	16	2.9%	▲10 / ▲2.0%
特別損益	8		▲0		
四半期純利益	21	3.9%	7	1.3%	▲14 / ▲2.6%

粗利益

- ▲1億減少。原料高の価格転嫁が遅れたことによる。
- 下期は、1)原料価格の安定、2)顧客件数増加、3)価格転嫁により大幅改善見込。

販管費

- +6億。主に顧客獲得の急伸に伴う費用等

営業利益

- ▲7億減少。LPガス事業が主要因

経常利益

- US事業を持分法適用。営業外費用で▲3億

特別損益

- 前期に+8億（負ののれん発生益+5億、関係会社株式売却益+2億など）

3. 2015年3月期上半期決算の実績と取組 / ③BS

- 自社株TOB(14/7/9決済)によりNet D/E Ratioは上昇。一方でC/Fは安定 (P8)。

単位：億円

	2014/3期 上半期	2015/3期 上半期	増 減
総資産	1,173	1,137	▲36
現預金	116	104	▲12
流動資産	258	239	▲19
固定資産	915	898	▲17
有利子負債（除くリース債務）	527	623	+96
Net有利子負債（除くリース債務）	411	519	+108
純資産	429	297	▲132
（内、自己資本）	317	297	▲20
（内、少数株主持分）	112	0	▲112
Net D/E Ratio	1.30	1.75	+0.45

有利子負債

- 14/7/9に実施した自社株TOBを目的として有利子負債での調達を実施。

純資産

- 14/7/9に自社株TOBを実施。

少数株主持分

- 完全子会社化(2014/3/7効力発生)により少数株主持分はほぼゼロ。

Net D/E Ratio（Net有利子負債÷自己資本）

- 自社株TOBにより数値が上昇。Cash Flowは安定推移 (P8)。

3. 2015年3月期上半期決算の実績と取組／④Cash Flow

- 当社のCF (収益も)は下期偏重。通期では、投資CFは営業CFの範囲内となる見込

単位：億円

	2014/3期 上半期	2015/3期 上半期	増 減
EBITDA	75	70	▲5
営業CF	+19	+40	+21
(内、各種償却費)	(49)	(51)	+2
投資CF	▲22	▲50	▲28
(内、有形固定資産取得)	(▲32)	(▲44)	(▲12)
財務CF	▲29	▲27	+2
(内、借入収支)	(+81)	(+131)	(+50)
CF Total (換算調整前)	▲32	▲37	▲5

営業CF

- 運転資金の改善によるCF増加：+16億

投資CF

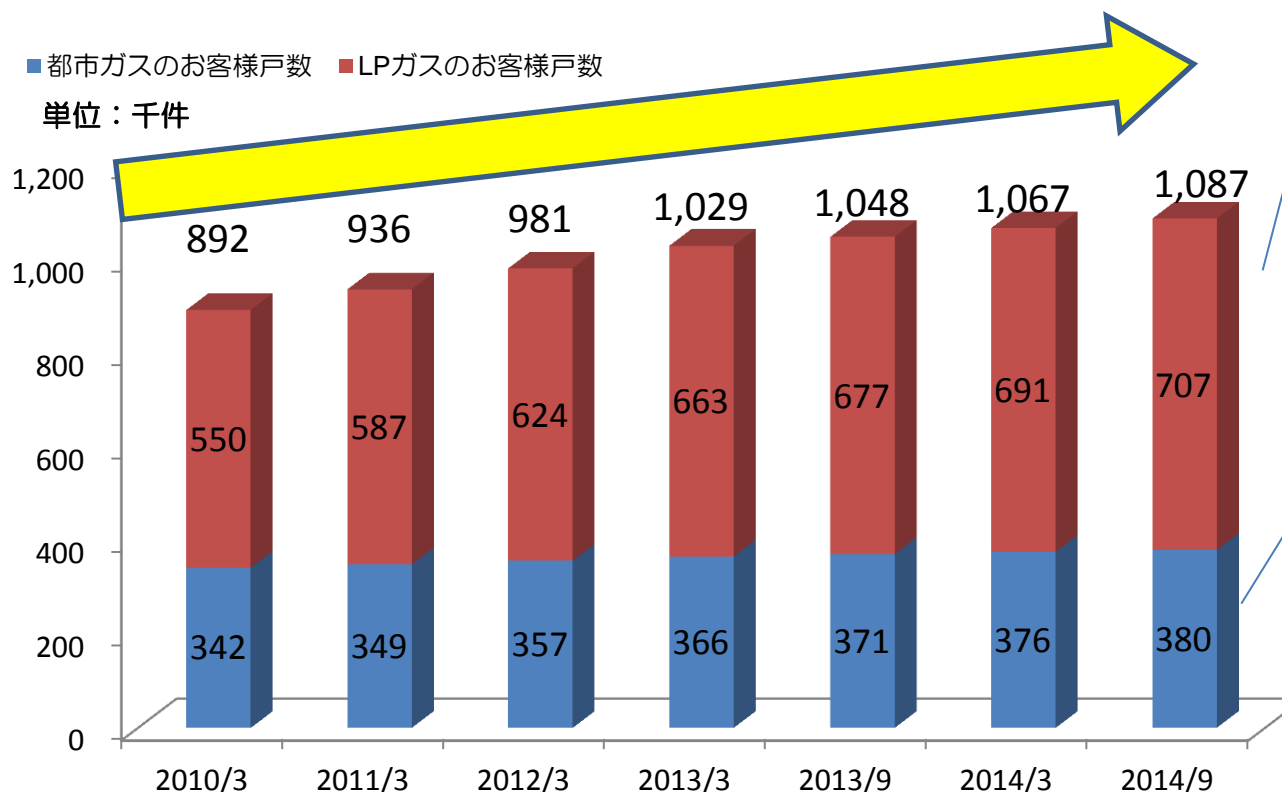
- 導管延長等による支出：▲38億
- デボ用地取得：▲4億（東京都西多摩、茨城県稲敷）
- 海外事業：▲8億

財務CF

- 自己株式取得：▲144億
- 借入金収支：+131億
- 配当金の支払：▲9億 など

3. 2015年3月期上半期決算の実績と取組／⑤お客様数

- 完全自由化市場のLPガスと、自由化見込市場の都市ガスの両方でお客様数を順調に拡大。



LPガス（完全自由化市場）

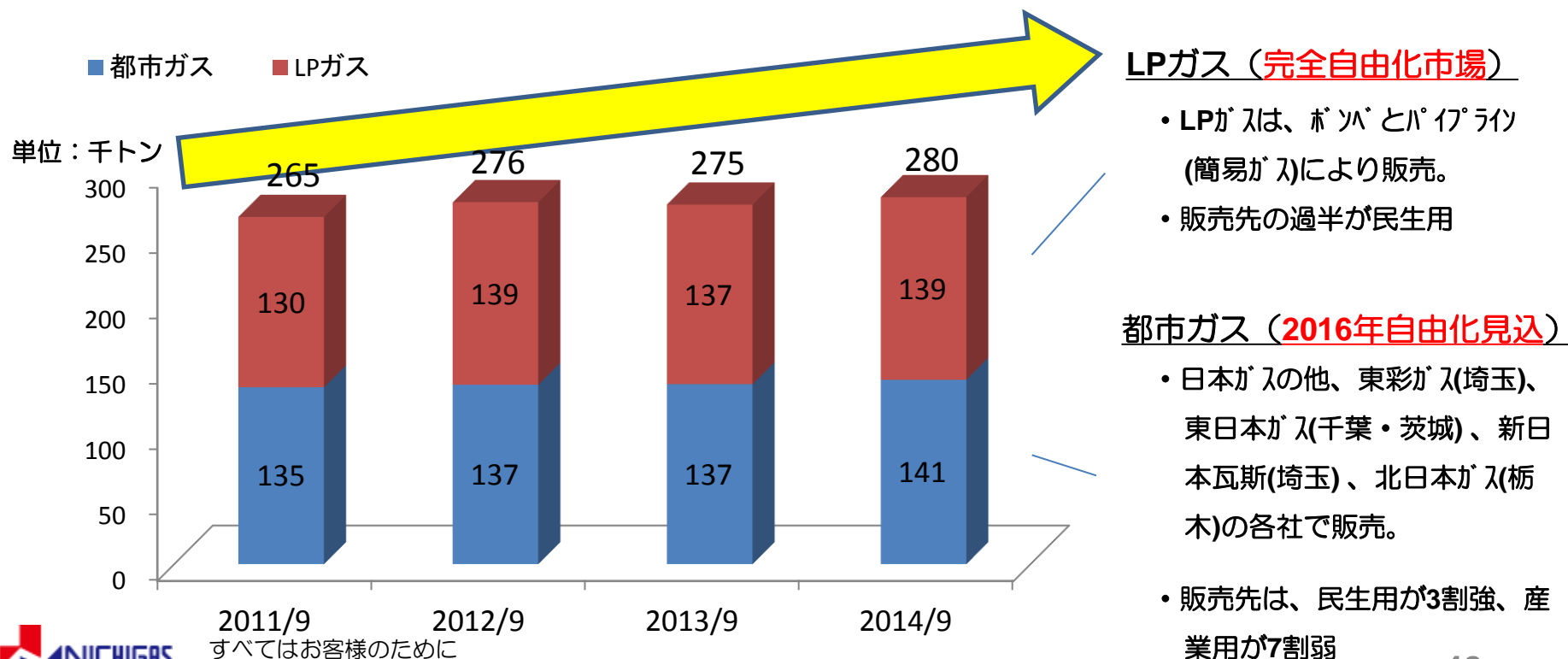
- 本上期中にLPガス顧客は16千件純増
- 各居宅への個別訪問（ドアック）営業により新規顧客を開拓
- LPガスの全国平均販売価格は、当社の販売価格に比べて3割高で推移(2014/4~2014/9平均)。

都市ガス（2016年以降に自由化見込）

- 本上期中に都市ガス顧客は4千件純増

3. 2015年3月期上半期決算の実績と取組／⑥ガス販売量

- ガス販売量は前年同期比で+2%増。
- 世帯あたりガス販売量は家族構成の変化等により逡減傾向も、それを上回るお客様数の増加でガス販売量は増加基調。



3. 2015年3月期上半期決算の実績と取組／⑦電力事業

• ガスと電力のパッケージ販売に着手

自由化後のエネルギー小売では、生活インフラ商品のパッケージングが重要な戦略となる。当社は、パッケージの中核を担う”ガスと電力”のパッケージ販売を近々開始予定。

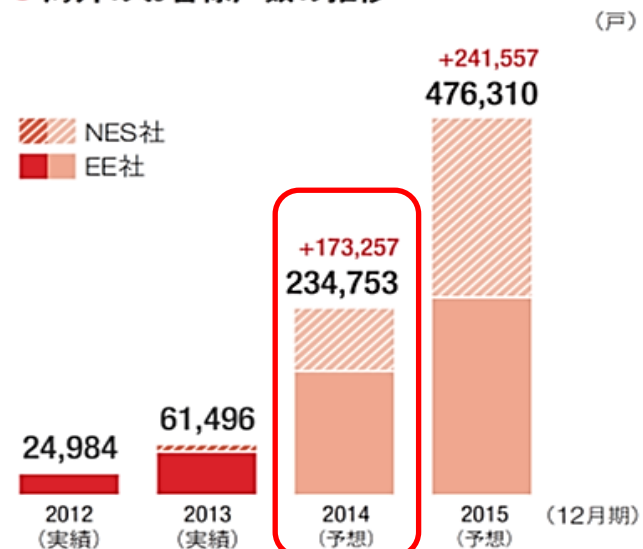
- 2014/5月にPPS届出、同年10月にパッケージ販売の戦略部署として総合エネルギー事業部を設立。
- ガス・電力の全面自由化に先駆けて、既自由化分野であるLPガスと高圧電力(50kw以上)でのパッケージ販売を下期に開始する。具体的なターゲットは産業用と集合住宅。
- 2020年までに当社グループの全てのガス顧客(現状108万件)に対して、ガスと電力のパッケージ販売を行うことを最終目標とする。
- 2015年3月迄にも、具体的な成約事例を見込む。

3. 2015年3月期上半期決算の実績と取組／⑧海外事業

・北米の電力・ガス小売が順調に拡大

- 顧客件数が161千件に到達（テキサス／Entrust社：132千、北東部／NES社：29千）（2014/9/末時点）。
- 自社にて育成した個別訪問(D2D)営業チーム、競争力ある価格、日本流のキメ細かい顧客対応等を原動力として、順調に顧客件数を伸長。

● 海外のお客様戸数の推移



4. 2015年3月期業績予想（通期）①

- 2015/3期通期の予想に変更無し。達成を見込む。
- LPG事業では、足元の原料価格の安定に加えて、下期には顧客増加と価格転嫁の効果が見込まれる(P14参照)。
- 都市ガス事業も下期の原料価格は安定推移予想 (P15参照)。

単位：億円

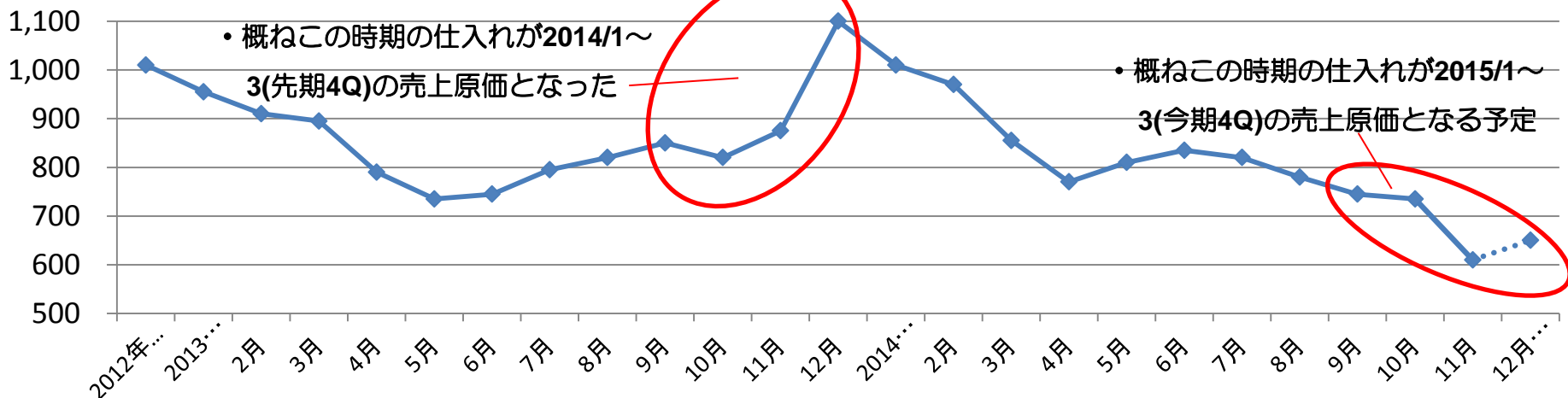
	2014/3期（実績）	2015/3期（予想）
売上高	1,268	1,330
営業利益	90	100
当期純利益	95	60
1株当たり当期純利益（円）	220.93	160.29
EBITDA	193	200

4. 2015年3月期業績予想（通期）② LPG事業

- ガスの売上は下期、特に4Qに偏重する。
- 4QのLPG原料価格は前年比低位の推移を予想。販管費のコントロールも進めて、前期比増益を見込む。

プロパンガスFOB価格推移

単位：\$(ドル)/ t(トン) あたり



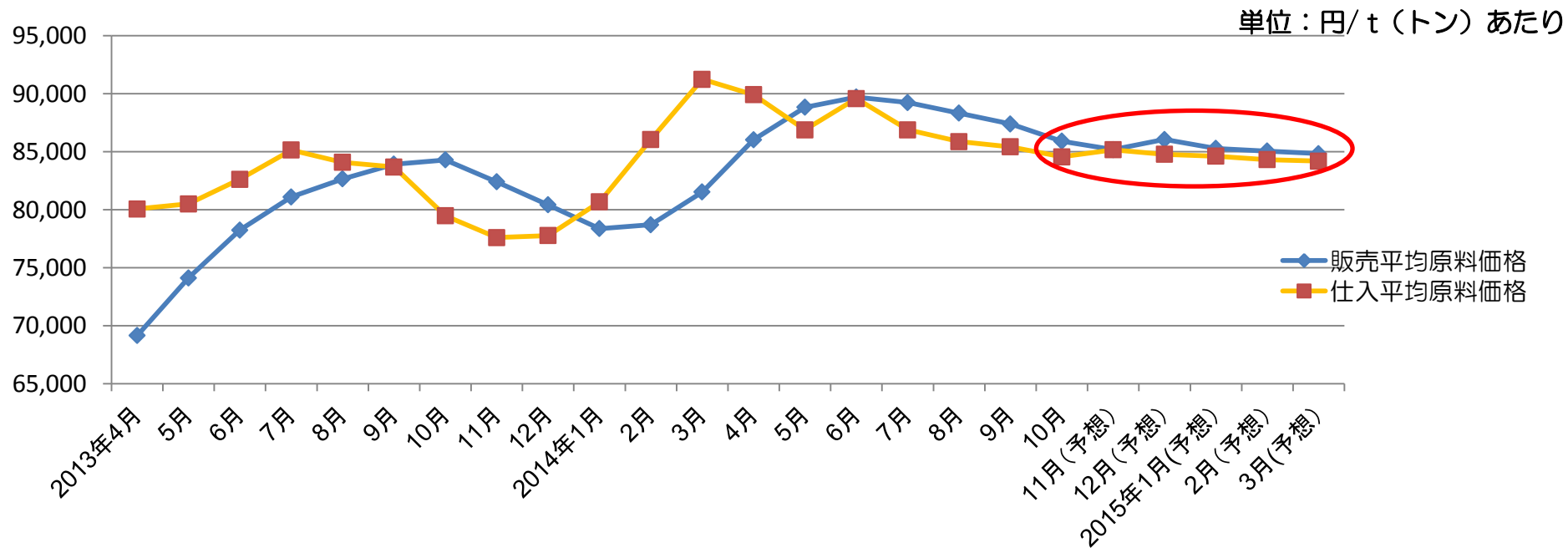
*12月は当社予想値

4Qの売上原価を構成する

出典：日本LPガス協会ホームページ
(2014/10/3時点 プロパンFOB価格)

4. 2015年3月期業績予想（通期）③ 都市ガス事業

- 下期の都市ガスの原料価格は安定推移を予想。販売価格と仕入価格のズレも相対的に小さく、業績の大きなブレは予想しない。



出典：当社グループ予想